



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2007年5月15日
MR/J20/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

2007年アフリカ・デー 5月25日(金) シンポジウムを開催

内容： 2007年アフリカ・デー記念シンポジウム
テーマ： 「日本・アフリカ間のインフラ、貿易、投資促進のための金融的手法」
日時： 2007年5月25日(金)、午前9時30分～午後1時
場所： UNハウス(渋谷区) ウ・タント国際会議場
主催： 国連大学(UNU)、在京アフリカ外交団(ADC)
後援： 外務省(予定)

- 2007年のアフリカ・デー記念シンポジウムでは、日本政府および日本の国際協力機構(JICA)、国際協力銀行(JBIC)、日本貿易振興機構(JETRO)などの政府機関が、アフリカとの貿易および投資振興のために最近採用した主な政策活動にスポットライトを当てる。
- また本シンポジウムは、アフリカの発展と貧困削減につながる持続可能な経済成長促進戦略のひとつの重要なパラメータとして、インフラ提供の重要性を再評価する機会となる。現在アフリカではこれらの分野でどのような政策活動が実施されているか、また日本はじめ相互協力関係にある国々にどのような貢献が求められているかを再考する。
- 2007年のアフリカ・デー記念シンポジウムは、2008年に開催される第4回東京国際アフリカ開発会議(TICAD IV)および2008年に日本で開かれる先進8カ国首脳会議の準備に役立つものとするため、アフリカの開発に関する優れた政策勧告を採択し実施するための新たな機会の創出を目標としている。
- 本シンポジウムでは最初に、国連大学のハンス・ファン・ヒンケル学長と、チュニジア大使で在京アフリカ外交団のサラ・ハンナシ団長が歓迎の挨拶を行う。
- 本シンポジウムでは、森喜朗氏(元総理大臣、衆議院議員、日本アフリカ連合友好議員連盟会長)、尾身幸次氏(財務大臣、衆議院議員)、ボウナ・セマウ・ディオフ氏(UNDPアフリカ地域局東京国際アフリカ開発会議(TICAD)部長)、ベルント・フィッシャー氏(ドイツ大使館首席公使)が基調演説を行う。
- 基調演説の後、国連大学のファン・ヒンケル学長の司会でパネルディスカッションを行う。パネリストは、スチュアート・ハロルド・コンバーバツハ氏(ジンバブエ共和国大使)、レスター・ダリー氏(世界銀行東京事務所駐日特別代表代行)、川俣喜昭氏(三菱東京UFJ銀行常務執行役員)、木山繁氏(国際協力銀行アフリカ地域外事審議役)、目賀田周一郎氏(外務省アフリカ審議官)、浦元善照氏(国際工業開発機構(UNIDO)事務局次長)。
- 締めくくりとして、本シンポジウムの議長であるワッサワ・ビリグワ駐日ウガンダ共和国大使が閉会の辞を述べる。
- 英日の同時通訳あり。
- 本シンポジウムは、インターネットのウェブキャストでもライブにて閲覧可能。
(<http://c3.unu.edu/videoportal/index.cfm?128>) (後日閲覧も可)

取材ご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。
国連大学広報部、担当：谷野(やの) (TEL:03-5467-1311 e-mail: media@unu.edu)